第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）

１．日時　2011 年 3 月 4 日(金)　10:00～12:00

２．開催場所　熱海 伊豆山温泉・ハートピア熱海
(〒413-0002　静岡県熱海市伊豆山 717-18)

３．出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

長尾委員長(豊橋技科大)	○	田中(康)幹事(東京都市大)	○	芦辺幹事(住友電工)	○
高橋幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝)	○		

１号委員

岡下委員(昭和電線)	×	岡本委員(富士電機) 代理 華表	○	小林委員(日立製作所) 代理 大嶽	○
清水委員(東芝)	○	高橋委員(ビスキャス)	○	中坊委員(日新電機)	×
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	×	穂積委員(愛知工大)	○
本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×	渡辺委員(日立電線)	○

２号委員

池田委員(JX-E)	○	岩本委員(東工大)	○	加藤委員(新潟大)	×
田中(祀)委員(早稲田大)	○	本間委員(電中研)	○		

４．提出資料

番号なし	第 199 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-200-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-200-2	第 87 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会 議事録要点（誘電・絶縁材料技術委員会関係分のみ）
DEI-200-3	第 1～3 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録
DEI-200-4	第 10 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録
DEI-200-5	調査専門委員会フォローシート（2010 年度計画）
DEI-200-6	平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（4 次案） 平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（1 次案）
DEI-200-7	絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 解散報告書
DEI-200-8	新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 設置趣意書
DEI-200-9	第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会開催記念講演会(研究会)へのお誘い
DEI-200-10	ISEIM 2011 アブストラクト投稿状況
DEI-200-11	ISEIM 2011 における SS セッションについて

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 199 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（高橋幹事補佐）

資料 DEI-200-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補佐に連絡する。

(株)日本 AE パワーシステムの宮城様より、当技術委員会に参加したいとの申し出があった。審議の上、１号委員として参加頂くことで、承認された。

5-3. 第 87 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 出席報告（長尾委員長）

資料 DEI-200-2 に基づき、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(以下、A 部門運営委員会)議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 公開シンポジウムについて

  公開シンポジウムに積極的に応募してほしいとの依頼があった。応募にあたり、どのような条件があるか、電気学会規約などを調査する必要がある。一般向けのシンポジウムであると推測されるため、当技術委員会からの応募は見送る。
- 平成 25 年全国大会

  平成 25 年 3 月 20～22 日の期間で、名古屋大学で実施されることが報告された。
- A 部門表彰における運用方法の修正案

  優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)の略称を「部門賞」とする。

  連載論文は、電気学会に投稿された論文のみを対象(カウント)する(電気学会の番号が割り振られていることが条件)。

  A 部門内での合同研究会の場合、技術委員会数で均等に割る。各技術委員会でダブルカウントはしない(但し、他部門との合同研究会は、該当しない)。
- 技術委員会・研究会の行事計画

  A 部門運営委員会の前に、技術委員会から電気学会事務局に最新版を送付すること。
- 研究会での招待講演などについて

  招待講演などの研究会資料において、技術委員会が特別に認めた場合に限り採番なしで、PPT 資料を研究会資料に載せることを認める(科学史技術委員会からの強い要望)。但し、PPT 資料も、他の論文と同じ原稿提出日とする。
- 活動資金関係

  秋田での絶縁材料シンポジウムの活動資金報告書が未提出(A 部門運営委員会時)。

  →現在は、提出済み。

  マグネティクス技術委員会では、「研究奨励賞」として、若手の優秀な研究会論文を表彰している。副賞の図書カード(3000 円)×7 人分＋賞状代・送料で、30,000 円を活動資金と申請している。当時術委員会でも検討を行う。
- 電気科学技術奨励学生賞について

  電気科学技術奨励会から、ISEIM 2011 で優秀な発表をした学生を表彰したいとの申し入れがあった。日本からの学生・海外からの学生、共に対象となる（日本 : 海外＝6 : 4 or 5 : 5 ぐらいが良い)。副賞は 1 人 3 万円で、10 名まで表彰可能。当技術委員会としては、受け入れる方針とする。但し、前 ISEIM での MVP 表彰の対象は、35 歳以下の若手発表者(学生と企業技術者)となっている。選考方法について検討する必要がある(田中幹事及び高橋幹事補佐で、選考方法の草案を作成する)。
- 部門賞の決定時期について

  部門賞などの成果が、学生の奨学金返済免除に有利に働く場合がある。年内に部門賞が決定すると、学生が申請をし易い。今後、検討してほしい。
- 調査専門委員会関係

  解散後 2 年以内の委員会で、技術報告が出ていない委員会については、次回の運営委員会で、状況を報告することになった。

  電磁界理論 技術委員会に属する調査専門委員会で、「研究会の開催＋特集論文」で技術報告に代わる形式として認められた。

  加藤委員長の「新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会」の設置が承認された。名簿を事務局に提出すること。

- ICEE 2011 (International Conference on Electrical Engineering)
  7 月に香港で開催される。また、韓国主導で Journal of International Council on Electrical Engineering が創設される。

5-4. 第 1～3 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録（代理報告 今井幹事補佐）

資料 DEI-200-3 に基づき、第 1～3 回 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会 議事録が報告された。但し、第 3 回は調査専門委員会で未承認であるため案としている。

5-5. 第 10 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録（池田調査専門委員会 委員長）

- 資料 DEI-200-4 に基づき、第 10 回絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 議事録が報告された。
- 次回で終了となる。技術報告は現在作成中。
- 解散報告書は提出済み。しかし、運営委員会へは未提出となっているため、状況を確認する。

5-6. 調査専門委員会活動状況の確認（田中幹事）

資料 DEI-200-5 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 「アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線」に関する
  第 1 回の委員会を 2011 年 2 月に開催済み。
- 先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術
  第 3 回委員会を 2010 年 12 月 22 日に開催済み。第 4 回委員会を 2011 年 3 月 24 日に開催予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術
  第 3 回委員会を 2011 年 1 月 22 日に開催済み。第 4 回委員会を 2011 年 4 月中旬に開催予定。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発
  2011 年 1 月 22 日に委員会を開催済み。次回委員会を、全国大会期間中の 2011 年 3 月 17 日に開催予定。
- 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント
  第 10 回委員会を 2010 年 12 月 9 日に委員会を開催済み。
  2011 年 2 月に研究会を開催済み。
- 有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用
  後継委員会の設置は、A 部門運営委員会でも承認済み。
- 電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術
  技術報告は未提出。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能
  技術報告は未提出だが、95%完成している。
- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面
  技術報告は未提出。転載許諾が問題。
- 繰り返しインパルスにおける部分放電計測
  解散済み。技術報告は執筆済み。放電技術委員会については、後継の調査専門委員会を設置しない方針である。当技術委員会の下で行う場合、関係者の意見も収集しながら、詳細な検討が必要(長尾委員長)。

5-7. 平成 22，23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（田中幹事）

資料 DEI-200-6 に基づき、平成 22 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(4 次案)の確認を行った。

- 平成 22 年の発表論文件数は、77 件となることが報告された。

資料 DEI-200-6 に基づき、平成 23 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(1 次案)の確認を行った。

- 5 月の技術委員会は見学会も開催となるため、早急に開催場所を決める。
- 9 月の技術委員会は、A 部門大会時に実施する。
- トリー，トラッキング，絶縁一般の研究会は、11 月に秋田で開催する。
- ナノコン，空間電荷の研究会は、12 月に東京で開催する。技術委員会も、併催する。
- 平成 24 年の電気学会全国大会において、空間電荷のシンポジウムを実施する。
- 電線，ケーブルとの共催の研究会を 2 月に実施する。屋外ポリマーがいしの研究会も、これに加わる。

5-8. 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 解散報告書

資料 DEI-200-7 に基づき、当技術委員会では、絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント調査専門委員会 解散が承認されている。A 部門運営委員会では、未承認のため、事務局に至急、開催報告書を送付する。

5-9. 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 設置趣意書

資料 DEI-200-8 に基づくメール審議により、新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会の設置は承認済み。A 部門運営委員会においても承認済み。

5-10. 第 200 回 誘電・絶縁材料技術委員会開催記念講演会（研究会）へのお誘い(田中幹事)

資料 DEI-200-9 に基づき、本日 13：00 から講演会の説明があった。

5-11. ISEIM 2011 アブストラクト投稿状況(高橋幹事補佐)

資料 DEI-200-10 に基づき、2011 年 3 月 3 日における ISEIM 2011 アブストラクト投稿状況が報告された。

- 韓国からの投稿が 0 件である。
- International Advisory Committee, EINA のメーリングリストを利用して投稿を再度呼びかける。
- 犬石メモリアルアワードの表彰者を至急決める必要がある。

5-12. ISEIM 2011 における SS セッションについて(今井幹事補佐)

資料 DEI-200-11 に基づき、ISEIM 2011 における SS セッションについて検討を行った。

- ISEIM 2011 においても、SS セッションを開催する。
- 東芝，電力中央研究所は、SS セッションで発表可能。
- JX-E は、SS セッションでの発表は無理。
- その他の企業からの委員については、発表の可否を検討後、後日連絡する。
- 大学からの委員については、発表可能な企業を紹介できるかを、後日連絡する。

６．次回技術委員会の開催

第 201 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、5 月 30 日(月)に開催する。

以上